

外国人受け入れ政策の大転換と 地域経済・地域社会への影響

2019年4月、外国人労働者受け入れ政策は大転換を迎えます。具体的には新たな在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」の導入により、介護、農業、建設、宿泊、造船、製造、水産等の分野で今後数十万人規模の単純労働力受け入れを想定しており、法務省入国管理局を改組・格上げした出入国在留管理庁が設置されます。当面の運用対象となる「特定技能1号」は在留期間の制限があり、家族帯同を認めないため、政府は「移民とは異なる」としていますが、地域経済・地域社会には大きな影響が予測されます。

本セミナーでは、静岡文化芸術大学の副学長で多文化共生に詳しい池上重弘教授を講師にお招きし、グローバルな労働力の動きが活発化する現代において日本の労働市場はアジアの若者たちの目にどのように映るのか、そして彼らを迎え入れた日本の企業や地域社会には何が求められるのかについてご講演いただきます。

【日時】 平成31年3月11日（月）14：00～16：00（開場13：30）

【会場】 沼津商工会議所会館 4階 大会議室（沼津市米山町6-5）

※会館利用者のための駐車場はございません。公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。

【参加費】 無料

【内容】 1. 講演：外国人受け入れ政策の大転換と地域経済・地域社会への影響

講師：池上 重弘 氏（静岡文化芸術大学副学長、文化政策学部教授）

北海道札幌市出身。北海道大学大学院文学研究科修了。同大助手、静岡県立大短大部専任講師、静岡文化芸術大学助教授を経て、2008年より教授。2017年より副学長。専門は文化人類学、多文化共生論。文部科学省、内閣官房、総務省、外務省の有識者会議等の委員や外国人集住都市会議アドバイザー、愛知県、静岡県、浜松市、磐田市等の多文化共生に関わる委員を歴任。日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の課題を実証的に研究。主著に『ブラジル人と国際化する地域社会－居住・教育・医療－』（編著、明石書店）、『移民政策のフロンティア』（共編著、明石書店）。



2. 質疑応答

【定員】 50名（定員を超えてお申込みがあった場合、SIBAより連絡いたします）

【申込方法】 本用紙をFAX、またはSIBAホームページ（<http://www.siba.or.jp/>）から申込み

【締切】 平成31年3月8日（金）

【主催】 公益社団法人静岡県国際経済振興会（SIBA）

【共催】 沼津市

【後援】 ジェトロ静岡、沼津商工会議所、沼津市商工会（予定を含む）

【お問合せ】 担当：上原 TEL：054-254-5161 MAIL：uehara@siba.or.jp

*** 「外国人受け入れ政策の大転換と地域経済・地域社会への影響」参加申込書 ***

（送付先：SIBA FAX：054-251-1918）

貴社名	ご所属・お役職等	お名前

ご住所：〒

TEL： _____ FAX： _____

MAIL： _____ @ _____

※ご記入いただいた内容は、当セミナー開催関係機関・企業と共有し、参加者把握のため利用するほか事務連絡や関連事業に利用することがあります。当セミナーへの反社会的勢力の入場はお断りします。